

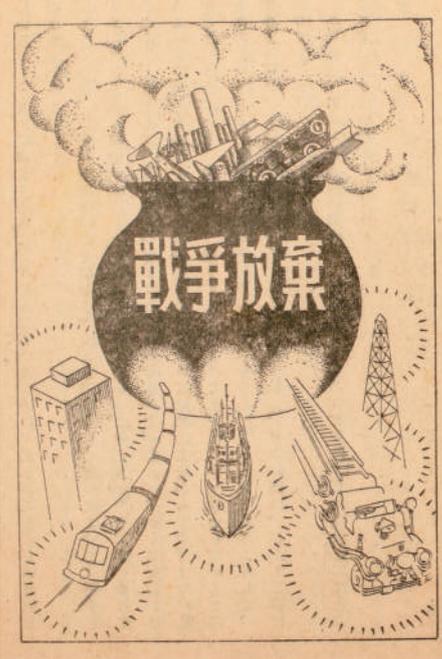
令和8年長野県立歴史館所蔵品展

長野県民の戦後再出発

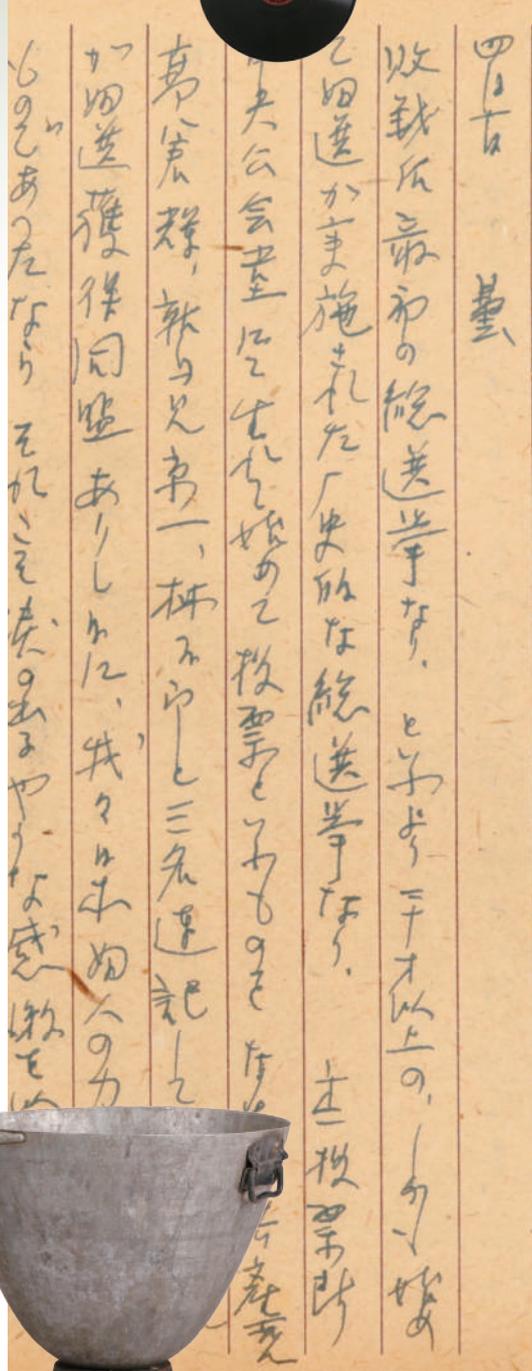
*掲載資料はすべて当館蔵



「東京ブギウギ」
SPレコード



「戦争放棄」(「あたらしい憲法のはなし」)



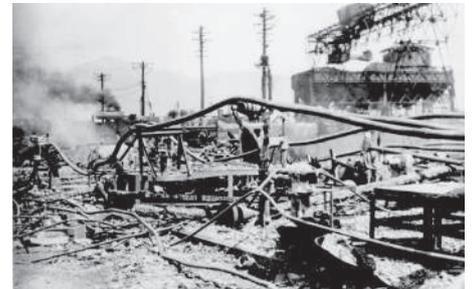
『兒玉勝子日記』



満洲国国民学校生徒の書



米軍投下ピラ



空襲で破壊された長野機関区



第22回衆議院議員選挙



「信州青年の歌」(ピース楽譜)

ゼロスピナー転用バケツ

2026・令和8年3月14日[土]—6月14日[日]

開館時間 ● 9時—17時(入館は16時30分まで) 休館日 ● 毎週月曜日(祝日は開館)と祝日の翌日

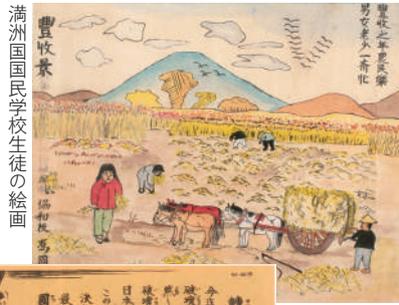
主催 ● 長野県立歴史館 後援 ● 信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞社長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ、長野日报社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団

長野県立歴史館

〒387-0007 長野県千曲市大字屋代260-6 Tel. (026) 274-3991(総合情報課)

令和8年長野県立歴史館所蔵品展 長野県民の戦後再出発

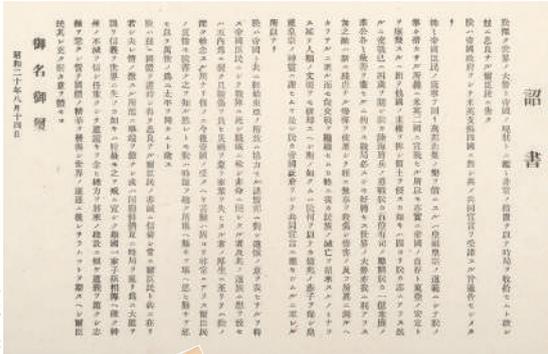
★掲載した史資料はすべて当館蔵



満洲国国民学校生徒の絵画



米軍投下ビラ



終戦詔書



『あたらしい憲法のはなし』



文部省



『昭和二十三年 分県問題に関する綴』



浅間山米軍演習地化反対運動

2025年(令和7年)は、終戦から80年の節目の年でした。しかし、終戦記念日として知られる「昭和20年8月15日」以降も、人びとの生活は依然として戦争の影響を強く受け続けました。その一方で、こうした状況のなかから、自由で民主的な新しい社会への扉も開かれていきました。本企画展では、混迷の時代にあって懸命に生きた長野県民の姿を追います。

まず、満洲やブラジルへ移民として渡った長野県出身者の歩みを資料からたどり、日本から遠く離れた地で生きた人びとにとって、終戦がどのような意味を持ったのかを考えます。また、GHQによる占領統治下の混乱の様子や、長野県連合青年団の活動、新憲法の公布や普通選挙の実施といった民主化の過程で活躍した女性の姿、さらには浅間山の米軍演習地化反対運動など戦後復興の担い手となった人びとの様子を示す資料を通じて、長野県民にとって「戦後」とは何であったのかを問い直します。

また、デジタル化した昭和30年代の映像フィルムを放映します。史資料保存の課題について考えるきっかけとなれば幸いです。

戦争を経て新しい時代と向き合いながら、「再出発」へと力強く歩みを進める長野県民の姿を、ぜひご覧ください。

＊会期中、作品・史資料の展示替えをおこないます。

関連イベント

- 講演会
2026年(令和8年)5月9日(土) 13:30～15:00
「満洲移民の記憶—四つの大日向の戦後史—」
講師：伊藤純郎氏(筑波大学名誉教授)
＊講演会の聴講は、事前申込みとなります。募集開始など詳しい内容については当館公式ウェブサイトでお知らせします。
- ギャラリートーク
① 2026年(令和8年)4月18日(土) 13:30～
② 2026年(令和8年)6月13日(土) 13:30～
担当：当館職員

観覧料

区分	企画展	企画展＋常設展・講演会	常設展・講演会
一般	300(200)円	500(400)円	300(200)円
大学生	150(100)円	250(200)円	150(100)円

＊()内は20名以上の団体料金。
＊高校生以下は無料。大学生(高等専門学校4年生以上、専門学校生を含む)の方は、学生証の提示をお願いします。なお、県内に所在する大学等の学生は、無料になります。
＊障害者手帳(身体・療育・精神)の交付を受けている方と付添者の方1名は無料です(手帳又は写しをご提示ください)。
＊お得な年間パスポート(1,500円)も販売中です。

交通案内

長野自動車道「更埴」ICから車で5分。
しなの鉄道「屋代」駅、「屋代高校前」駅から徒歩25分。

お問合せ

長野県立歴史館
〒387-0007 長野県千曲市大字屋代 260-6
TEL. (026) 274-3991 (総合情報課)
Website= <https://www.npmh.net/>



赤羽刀「太刀」(前期のみ展示)

赤羽刀「太刀」(後期のみ展示)